日本共産党名古屋市議団 市政ニュース
2020年3月17日
No.68
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

２月定例会本会議（3月17日）　さいとう愛子議員

日本共産党が予算組み替え動議を提出

新型コロナ感染症で生活や中小企業が大変な今こそ、いのちと暮らしを守る予算に

日本共産党名古屋市議団は3月17日に予算組み替え動議を提出。さいとう愛子議員が提案説明を行いました。

さいとう議員は、「消費税増税の打撃に加え、新型コロナウイルスの影響が市民生活の多方面に追い打ちをかけている」と指摘し、「いのちと暮らしを守る予算」への抜本的な予算組み替えを行い再提出するよう求めました。概要を紹介します。

くらしや営業を守り、子育てを支援し充実を

まず、後期高齢者医療保険料の値上げ分への補助、介護保険料を1人年平均3千円引き下げ、国民健康保険料の子どもにかかる均等割を廃止します。子ども医療費の助成対象を通院も18歳まで拡大し、学校給食費の値上げ分に対する助成、および第三子以降の給食費の無償化を行います。

統廃合をやめ教育環境の拡充を

小学校の統廃合を中止、少人数学級を進めて、教育を充実させます。高校生給付型奨学金の支給対象を全学年の非課税世帯に拡大し、私立高校授業料の補助の拡充、など子育て世帯の経済的な負担を軽減します。

組み替えの主な内容

①市民の福祉や暮らし、子育て支援の予算を増やす
- 後期高齢者医療保険料の値上げ注視　25.6億円
- 国保料の子どもに関わる均等割の廃止　15.2億円
- 介護保険料の年3000円値下げ　17.1億円
- 18歳までの通院医療費無料化　11.0億円
- 商店リフォーム助成の創設　5,000万円
- 住宅・マンションリフォーム助成の創設　3.5億円
- 小学校３年生までの30人学級　14.6億円
- 中学校２年生までの35人学級　8.7億円
- 給食費の値上分公費助成、第3子以降無償化　36.0億円
- 奨学金返還支援制度の創設　3.6億円

②金持ち減税をやめ、むだを削って112億円を生み出す
- 市民税５％減税　92.6億円
- リニア開業にむけた名駅ターミナル機能強化　6.6億円
- 名古屋駅周辺地下公共空間整備　8,000万円
- 名古屋城天守閣木造復元関連事業　3.6億円
- 国直轄道路事業負担金（近畿自動車道伊勢線）1.8億円
- 議員の海外視察費　2300万円

新型肺炎の影響が深刻な中小業者等への支援を

新型コロナウイルスの影響で仕事が激減している、中小企業・業者の暮らしと営業を応援します。

金持ち減税やリニア関連の名駅周辺開発等をやめて財源を確保

財源確保のために、金持ち優遇の市民税減税の中止で約92億円を確保、新たな税金の浪費につながる大型開発事業や市民生活に不要不急な事業は中止します。リニア開業を前提とした名古屋駅前開発、ささしま地下通路の建設、高速道路への新たな出入り口設置、中部国際空港２本目滑走路建設などをやめます。

市民合意のない天守閣木造復元は中止を

市民合意のない名古屋城天守閣木造復元関連の支出金は中止し、全体で116億円（一般財源24億円）を確保します。

自・公・民・減が反対

組み替え動議は、日本共産党以外の全会派が反対し、否決されました。

組み替えのフレーム

歳出	減額	削減額	捻出される一般会計	市債の削減額
		82億円	24億円	31億円
	増額	増加額	必要となる一般財源	市債の発行額
		116億円	116億円	0円
	差し引き	歳出の増額	一般財源の増額	市債の増減額
		34億円	92億円	△31億円
歳入	増額	市民税減税の中止	92億円	－
	減額	－	－	－
	差し引き（一般財源の増減額）		92億円	－

不要不急の公共事業などの歳出を82億円減らす一方で、福祉予算など116億円を増やし、後期高齢者医療保険料などの負担軽減や子育て支援をすすめます。必要な財源は金持ち減税の中止などによって確保。これにより借金（市債の発行）を31億円減らせます。